

橋梁点検の結果（橋長15m未満）

(1) 点検実施橋梁

平成21年度に実施した橋梁点検、158橋の橋種別集計を図-1に示す。

- 橋長は10～15m未満の橋梁57橋、残りは10m未満の橋梁である。
- 架設後経過年数は30年以上が5割を占め、架設年次不明の橋梁が約3割ある。
- 橋種はコンクリート橋が全体の9割、鋼橋が1割となっている。

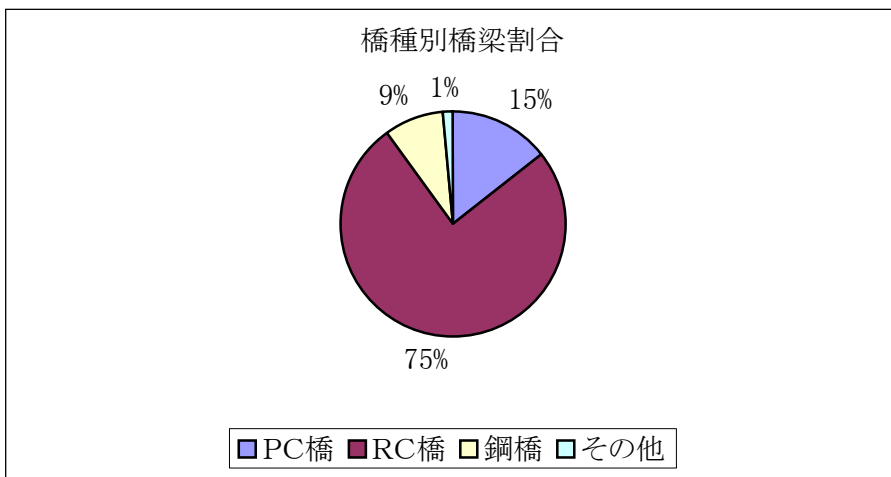
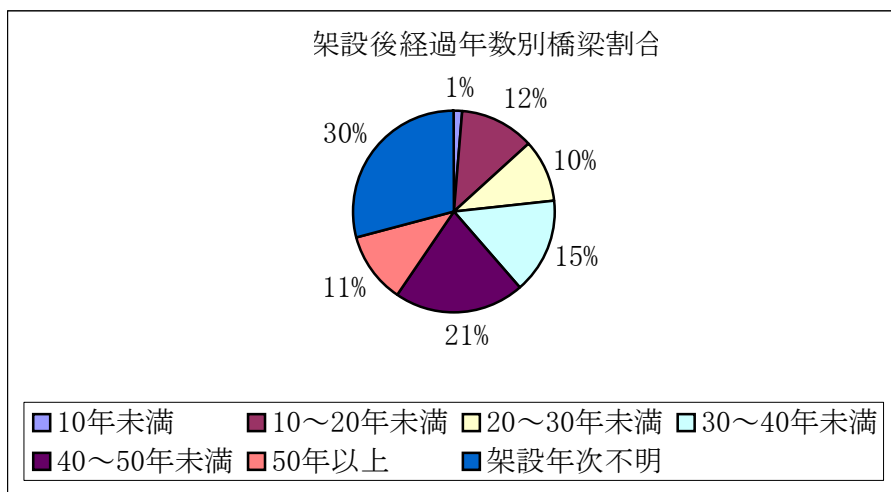
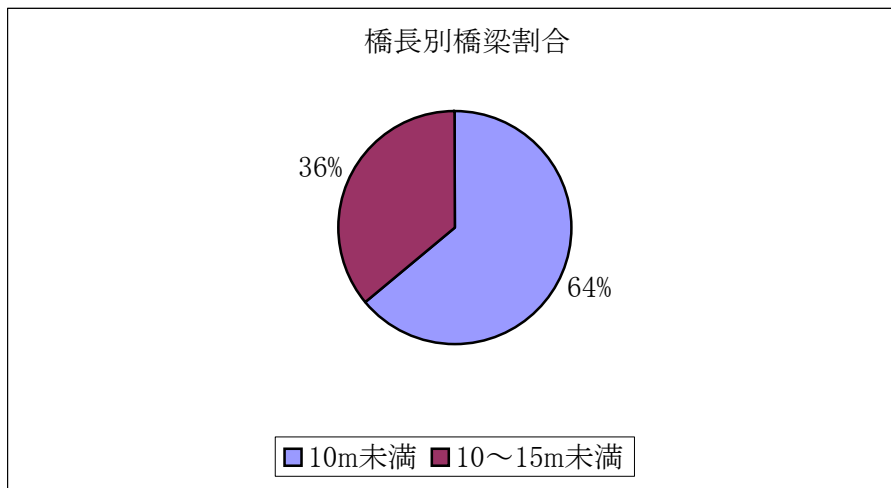


図-1 平成21年度点検橋梁の内訳

(2) 損傷状況

平成21年度点検橋梁の損傷について、図-2に示す。

- 橋梁主要構造(上部工、下部工)の損傷は橋桁の損傷が約5割にみられ、床版の損傷は2割、下部工の損傷は4割強である。
- 路面の損傷は2割、支承部の損傷は約5割の橋梁に見られる。

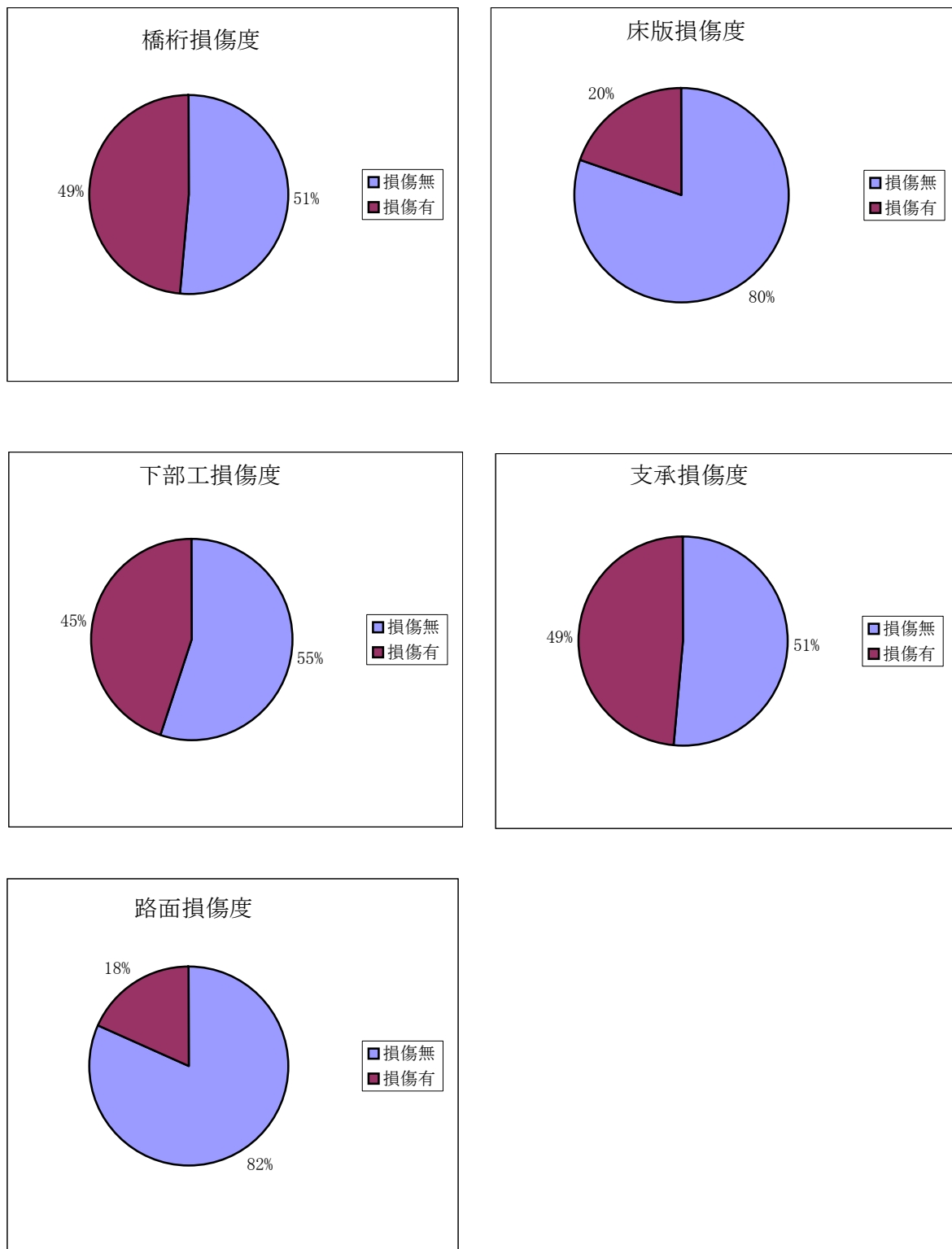


図-2 点検橋梁の損傷状況